中学１年　国語科　教材別テスト⑥

「星の花が降るころに」（安東みきえ）　／　漢字・語句・文法

１年	組	番	氏名	

【注意事項】

- 問題は「一」から「四」（Ｐ．１～Ｐ．５）までです。
- 大問四は、**教科書『国語１』（光村図書）の「星の花が降るころに」を開いて**解答しなさい。
- 解答は、解答用紙の適切な欄に、ていねいに楷書で書きましょう。
- 句読点などの符号も一字と数えます。

知識・技能　（５０点）

一　次の――線部について、漢字はその読みをひらがなに直し、ひらがなは漢字に直して書きなさい。ただし、送りがなが必要な場合は、必ず書くこと。　１点×20＝20点

① 長い沈黙が続く。
② 幼い弟の手を引く。
③ こぶしを握る。
④ 隣の席にすわる。
⑤ かすかな煙が漂う。
⑥ 鮮やかな色の空。
⑦ 遠くの山を眺める。
⑧ 恐ろしい夢を見る。
⑨ 普通に話しかける。
⑩ 返事に戸惑う。
⑪ 白いはなたばをもらう。
⑫ 花のかおりをかぐ。
⑬ なみだがこぼれる。
⑭ したしい友と話す。
⑮ 去年のきおくをたどる。
⑯ こうていのすみ。
⑰ しばふにすわる。
⑱ 大声でよびかける。
⑲ 夕日にかがやく。
⑳ えがおを見せる。

二　次の問いに答えなさい。

2点×7＝14点

(1)　「沈黙」の意味としてあてはまるものを、次から一つ選び、記号で答えなさい。

ア　声をひそめて小声で話すこと。　　イ　何も言わず、黙ったままでいること。

ウ　考えがまとまらず、まようこと。　　エ　相手の話を聞き流すこと。

(2)　「ぎこちない」の意味としてあてはまるものを、次から一つ選び、記号で答えなさい。

ア　思いやりがなく、冷たいこと。　　イ　とても急いでいて落ち着かないこと。

ウ　動きや言葉がなめらかでなく不自然なこと。　　エ　意味がわからず、こみ入っていること。

(3)　「言葉を濁す」の意味としてあてはまるものを、次から一つ選び、記号で答えなさい。

ア　はっきり言わずに、わざとあいまいにすること。　　イ　らんぼうな言い方をすること。

ウ　言いまちがえて、言い直すこと。　　エ　大声でどなりつけること。

(4)　「気まずい」の意味としてあてはまるものを、次から一つ選び、記号で答えなさい。

ア　体の具合が悪く、元気が出ないこと。　　イ　その場の空気が落ち着かず、居心地が悪いこと。

ウ　したいことがなく、たいくつなこと。　　エ　人をうらやましく思うこと。

(5)　「過去」の**対義語**を、漢字二字で書きなさい。

(6)　「漂」の部首名を、ひらがなで書きなさい。

(7)　「青空」と熟語の組み立てが同じものを、次から一つ選び、記号で答えなさい。

ア　新芽　　イ　強弱　　ウ　乗車　　エ　岩石

三　次のA・Bの問いに答えなさい。（活用形は「～形」、活用の種類は「～活用」という形で書くこと。）　2点×8＝16点

A　次の――線部の用言（動詞・形容詞・形容動詞）の活用形を答えなさい。

(1)　友だちに声をかけようとして、やめた。

(2)　私は黙って下を向いた。

(3)　道ばたに咲く花をつむ。

(4)　もう少し明るければ、字が読めるのに。

(5)　花のにおいがかすかだ。

B　次の――線部の動詞の活用の種類を答えなさい。

(6)　落ちた花を拾う。

(7)　窓から空を見る。

(8)　放課後に掃除をする。

思考・判断・表現　（５０点）

四　教科書の「星の花が降るころに」を読んで、後の問いに答えなさい。　50点

（1）「私」とかつての親友との関係は、以前と今とでどのように変わっているか。あてはまるものを次から一つ選び、記号で答えなさい。　4点

ア　以前は親友だったが、今はおたがいをうらんで、けんかを続けている。

イ　以前は親友だったが、今は別の学校に通い、手紙を送り合っている。

ウ　以前は親友だったが、今は顔も見たくないほど相手をきらっている。

エ　以前は何でも話せる親友だったが、今はおたがいに気まずさがあり、距離ができている。

（2）廊下で待っていた夏実が顔をそむけて行ってしまったとき、「私」はどのような気持ちだったと考えられるか。「～気持ち。」の形で、**二十五字以上三十五字以内**で書きなさい。　6点

（3）題名の「星の花」とは、何の花のことか。答えなさい。　3点

四　（つづき）

（4）「私」は、花の入った袋を持って廊下で夏実を待っていたとき、夏実とどうしようと決意していたか。**二十五字以上三十五字以内**で書きなさい。［6点］

（5）夏実に顔をそむけられた直後の、色や光の見え方についての描写は、「私」のどのような状態を表していると考えられるか。あてはまるものを次から一つ選び、記号で答えなさい。［4点］

ア　夏実の態度に大きなショックを受け、動揺していること。

イ　強い日差しのせいで、体調をくずしていること。

ウ　夏実と仲直りができて、気持ちが明るくなっていること。

エ　戸部君に腹を立て、顔も見たくないと思っていること。

（6）戸部君とのやりとりは、「私」にとってどのようなはたらきをしているか。あてはまるものを次から一つ選び、記号で答えなさい。［4点］

ア　思いがけないやりとりによって、場面の空気をやわらげるはたらき。

イ　かつての親友との仲を取りもって、二人を仲直りさせるはたらき。

ウ　「私」をさらに傷つけ、学校がきらいになるきっかけをつくるはたらき。

エ　かつての親友の悪口を言うことで、「私」の味方になるはたらき。

（7）「私」が、持ってきた花を土の上に落としたことには、どのような気持ちがこめられているか。**二十字以上三十字以内**で書きなさい。［5点］

（8）花や景色、季節の移り変わりといった情景の描写は、この作品の中でどのようなはたらきをしているか。あてはまるものを次から一つ選び、記号で答えなさい。［4点］

ア　物語の舞台がどこにあるのかを、くわしく説明するはたらき。

イ　「私」の気持ちの移り変わりを、情景に重ねて表すはたらき。

ウ　読み手に植物のくわしい知識を教えるはたらき。

エ　時間の流れを止めて、一つの場面を長く引きのばすはたらき。

四　（つづき）

（9）物語の最後で、「私」の気持ちはどのように変化したか。**二十五字以上三十五字以内**で書きなさい。［6点］

（10）題名「星の花が降るころに」には、どのような意味がこめられていると考えられるか。あてはまるものを次から一つ選び、記号で答えなさい。［3点］

ア　花が星のように美しいという、見た目の感想だけを伝えようとしている。

イ　空から星が降るという、この世にはありえないできごとを表している。

ウ　季節がめぐり、花が降るころに起こった「私」の出来事であることを表している。

エ　星が消えるように、かつての親友が遠くへ引っこしてしまうことを表している。

（11）本文の内容にあてはまるものを**全て**選び、記号で答えなさい。【完答】［5点］

ア「私」とかつての親友は、以前は仲のよい間柄だった。

イ「私」は、花の入った袋を持って、廊下でかつての親友を待っていた。

ウ　この物語は、「私」が小学生だったころの出来事として語られている。

エ「私」は、最後にかつての親友と仲直りをして、以前と同じ関係にもどった。

オ　戸部君という同級生が登場し、「私」と言葉を交わす場面がある。

解答用紙①　知識・技能

中学１年　国語科　教材別テスト⑥「星の花が降るころに」

１年	組	番	氏名	

知識・技能　小計

一　漢字 （１点×20）	①		②	
	③		④	
	⑤		⑥	
	⑦		⑧	
	⑨		⑩	
	⑪		⑫	
	⑬		⑭	
	⑮		⑯	
	⑰		⑱	
	⑲		⑳	

二　語句の知識 （２点×７）	(1)		(2)	
	(3)		(4)	
	(5)		(6)	
	(7)			

三　用言の活用 （２点×８）	(1)		(2)	
	(3)		(4)	
	(5)		(6)	
	(7)		(8)	

※　三のA（１）～（５）は活用形、B（６）～（８）は活用の種類を書く欄です。まちがえないようにしましょう。

解答用紙②　思考・判断・表現

中学１年　国語科　教材別テスト⑥「星の花が降るころに」

１年	組	番	氏名	

思考・判断・表現 小計	合計（100点満点）

四 「星の花が降るころに」（50点）	(1)			
	(2)			
	(3)			
	(4)			
	(5)		(6)	
	(7)			
	(8)			
	(9)			
	(10)		(11)	

※　記述問題は、解答欄におさまるように、ていねいな字で書きなさい。句読点も一字と数えます。（２）（４）（９）は25～35字、（７）は20～30字です。